

第2期ロジスティクス環境会議 第1回本会議 議事録

I. 日 時：2006年8月2日（水） 14：00～16：00

II. 場 所：東京・千代田区 ホテルニューオータニ 本館1階 鳳凰の間

III. 出席者：101名

IV. 議 案：

- 1) 概要と運営体制（案）について
- 2) 2006年度収支予算（案）について
- 3) 今後のスケジュール（案）について

V. 開 会

事務局の徳田より開会が宣され、第2期ロジスティクス環境会議への参加の御礼が述べられた。また、第2期ロジスティクス環境会議の案内書送付遅延についてのお詫びがなされた。

次に、資料1-1に基づき、第2期ロジスティクス環境会議に至るまでの経緯について説明がなされ、第1期ロジスティクス環境会議 第4回本会議で採択された「ロジスティクス環境宣言」の紹介、及び同宣言の実行に向けた活動を第2期活動で精力的に展開する旨、説明がなされた。

続いて、資料1-2に基づき、第2期ロジスティクス環境会議組織体制について説明がなされ、議長、副議長、企画運営委員会 正副委員長、研究会幹事、各委員会委員長の紹介がなされた。最後に、研究会副幹事、各委員会副委員長については、幹事ならびに委員長と相談の上、事務局より依頼する旨、説明がなされた。

VI. 議長挨拶

三村議長より挨拶が述べられ、①第1期ロジスティクス環境会議で開発したツールを最大限活用する方法の検討及び実践により大きな成果をあげること、②活動成果を環境会議メンバー企業のみならず、取引先等の関係会社と広く共有し、その活動の輪を広げることが要望された。

VI. 副議長挨拶

岡部副議長より、挨拶が述べられ、三村議長が述べた内容の実現に向けて、参加メンバーの英知を結集することが要望された。

VII. 第1期の活動と成果

菅田企画運営委員より、資料2に基づき、ロジスティクス環境会議の活動の根幹をなしている「循環型社会を実現するロジスティクス・ランドデザイン」の説明、及び第1期の活動とその成果について、説明がなされた。

VIII. 議事の経過

三村議長の司会のもと、以下のとおり議事が進められた。

1. 議 事

1) 概要と運営体制について

事務局の徳田より、資料3に基づき、概要と運営体制（案）について説明がなされ、全会一致で承認された。

2) 2006年度収支予算について

事務局の徳田より、資料4に基づき、2006年度収支予算（案）について説明がなされ、全会一致で承認された。

3) 今後のスケジュールについて

事務局の徳田より、資料5に基づき、今後のスケジュール（案）について説明がなされ、全会一致で承認された。

以上をもって、三村議長は第1回本会議の議事を終了した。

2. 行政施策動向について

事務局の徳田の司会進行のもと、オブザーバー各省より行政施策動向の説明が行われた。発表者は以下のとおり。

1) 経済産業省

商務情報政策局 流通政策課長
浜辺 哲也氏

2) 国土交通省

総合政策局 貨物流通施設課長
一見 勝之氏

3) 環境省

総合環境政策局 環境経済課長
鎌形 浩史氏

4) 農林水産省

総合食料局 流通課長
今井 良伸氏

IX. 閉 会

以上をもって、すべての内容を終了し、事務局の徳田が閉会を宣した。

以 上